

修士論文審査の視点

修士論文の質を向上させ、本学大学院修士課程の特徴をふまえた、より適正な論文の作成と評価を行えるようにすることを目的に、審査の視点を整理する。

これらの視点は、教員および学生が共有するものとする。

- 修士論文においては、必ずしもテーマの新規性を問わない。
- また、結果はネガティブであってもよしとする。
- 以下の6項目が概ね達成できていれば合格ラインとする。

評価項目	評価のポイント
1. 先行研究の吟味	①必要な先行研究について、理解し適切に整理されているか
2. 研究デザイン	①研究テーマ・課題に合った研究デザインが設定されているか ②研究方法は、目的に沿った方法が選択されているか
3. 論理展開の妥当性	①結果を踏まえた上での考察が十分なされているか ②目的に沿った結論が得られているか ③研究の長所と短所（限界）を理解し、整理しているか ④データの収集方法や分析、解釈に誤りがないか ⑤統計処理は正しく行われているか
4. 整った形式	①指定された形式・要領で執筆されているか ②方法が詳しく述べられているか ③論文中の引用・参考文献の提示は適切か ④図表の体裁は整っているか、また、表題、脚注など丁寧に書かれているか
5. 審査会について	①審査会のレジュメは適切にまとめられていたか ②試問に対して適切に答えることができたか ③研究課題に対する必要な専門知識が十分に修得されているか ④行った研究の概要をわかりやすく発表できたか ⑤プレゼンテーション資料の提示は適切に行えたか ⑥制限時間内に準備した発表が行えたか
6. その他	①学会発表などで積極的な研究活動をしてきたか

高度人材養成コース審査の視点

高度人材養成研修成果報告書の質を向上させ、本学大学院修士課程の特徴をふまえた、より適正な報告書の作成と評価を行えるようにすることを目的に、審査の視点を整理する。

これらの視点は、教員および学生が共有するものとする。

- ・ 報告書においては、修学の成果を示す適切な報告を含むものとする。
- ・ 研究課題においては、必ずしもテーマの新規性を問わない。また、結果はネガティブであってもよしとする。
- ・ 以下の項目が概ね達成できていれば合格ラインとする。

評価項目		評価のポイント
I 報告書全体	1. 修学の成果	①各コースの目的に掲げられた資質能力の修得に関する内容を含んでいるか ②栄養士の実務経験コースにおいては、別に定める実務報告の内容を含んでいるか
II 高度化した専門性に対する取組みと成果	1. 高めたい専門性 (つけたい力の明確化)	①高めたい専門性 (つけたい力) について、具体的に自分の課題を設定し、明確に説明することができるか (目標設定)。
	2. インターシップの目的と内容	①目標に適したインターンシップ (実習・実験・調査含む) が計画できているか。 ②計画にそって、実施し、目標の達成度合いを評価しているか・
	3. 論理展開の妥当性	①論理的に構成できているか。 ②目標の達成の程度を客観的に評価しているか。 ③客観的なデータの収集方法や分析、解釈に誤りがないか ④統計処理は正しく行われているか
	4. 整った形式	①指定された形式・要領で執筆されているか ②インターンシップ (実習・実験・調査含む) が分かりやすくのべられているか ③報告書中の引用・参考文献の提示は適切か ④図表の体裁は整っているか、また、表題、脚注など丁寧に書かれているか
III 審査会	1. 発表について	①審査会のレジメは適切にまとめられていたか ②試問に対して適切に答えることができたか ③高めたい専門性が修得されているか ④高度人材養成としての取組みの概要をわかりやすく発表できたか ⑤プレゼンテーション資料の提示は適切に行えたか ⑥制限時間内に準備した発表が行えたか
IV その他	1. 研究活動	①学会参加などで積極的な研究活動をしてきたか

学校保健教職専門コース審査の視点

学校保健教職専門コース課題研究報告書の質を向上させ、本学大学院修士課程の特徴を踏まえた、より適正な報告書の作成と評価が行えることを目的に以下、審査の視点を整理する。

これらの視点は、教員および学生が共有するものとする。

- ・報告書においては、修学の成果を示す適切な報告を含むものとする。
- ・研究課題においては、必ずしもテーマの新規性を問わない。また、結果はネガティブであっても良しとする。

する。

- ・以下の項目が概ね達成できていれば合格ラインとする。

評価項目		評価の視点
I. 報告書全体	修学の成果	学校保健教職専門コースの目的に適った成果の修得が確認できる内容を含んでいるか
II. 専門性に対する取り組みと成果	1. 高めたい専門性の明確化	①高めたい専門性（つけたい力）について、自分の課題を設定し、明確に説明することができるか
	2. 目的と内容	①目標に適した課題設定、計画ができているか ②計画に沿って、実施し、目標の達成度を評価しているか
	3. 論理展開の妥当性	①論理的な構成になっているか ②目標の達成度について客観的に評価しているか ③データの収集方法や分析、解釈には誤りがないか ④統計処理は正しく行われているか
	4. 整った形式	①指定された形式・要領で執筆されているか ②自己の課題がわかりやすく述べられているか ③報告書の中の引用・参考文献の提示は適切か ④図表の体裁は整っているか（表題や脚注が丁寧に書かれているか）
III. 審査会	発表について	①審査会のレジュメは適切にまとめられているか ②試問に対して適切に答えることができたか ③高めたい専門性が修得されているか ④課題として取り組んだ概要がわかりやすく発表できたか ⑤プレゼンテーション資料の提示は適切に行えたか ⑥設定された時間内で準備した発表が行えたか ⑦学校組織や学校保健のリーダーとしての課題解決的思考や主体的・実践的態度及び意欲を有しているか
IV. その他	研究・実践活動	学会や実践等、課題にあった研究もしくは実践を積極的に行えたか